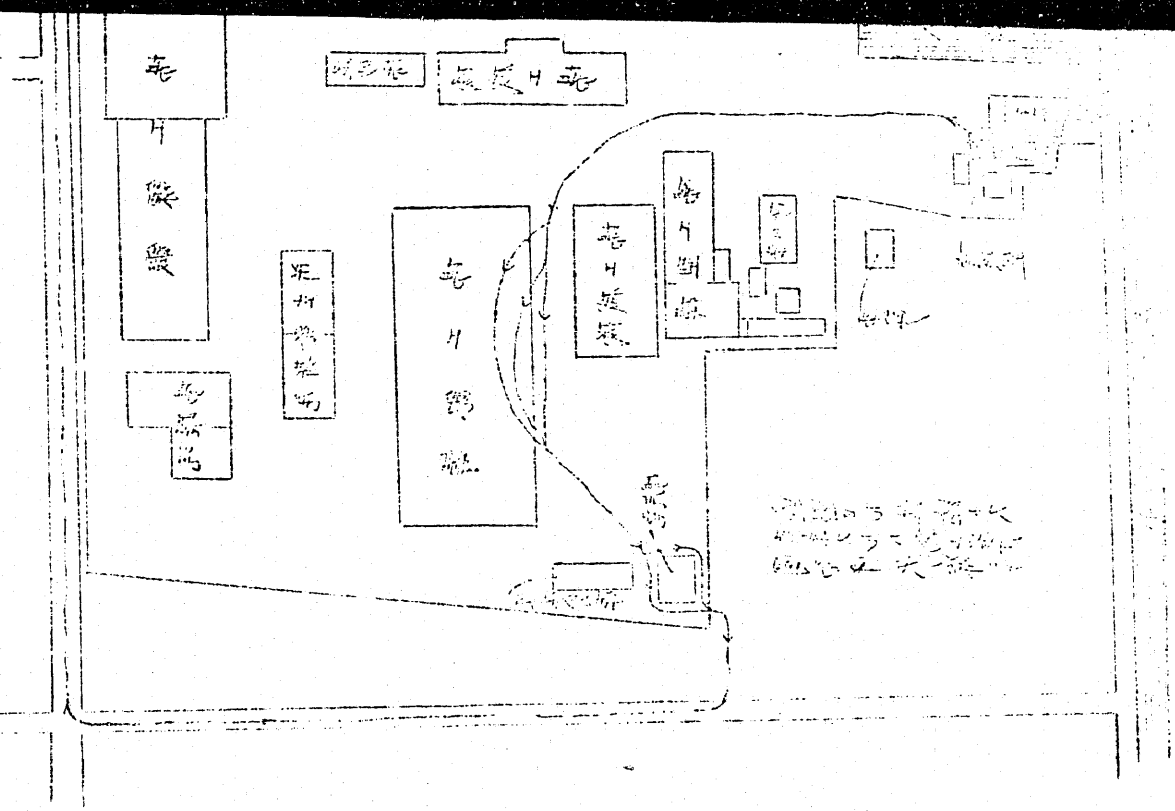

……賃銀奴隷から解放される爲めには……

■吾々が無理のない要求をした時でも、資本家が容易にその要求を容れぬのは、資本家同士の間に堅い約束があるからだ。

■吾々が勞働爭議の爲めに馘首されると、どこの工場に往つても使はぬのは、資本家同士の間に大同團結を結んで居るからだ。

■吾々は最早や一人一人の資本家、一ツ一ツの工場を相手に戰爭をして居るのではなくて、資本家階級―即ちすべての資本家、すべての會社、すべての工場を相手に戰爭をして居るのだ。

■して見れば一工場や一會社だけのストライキを起したゞけでは、ナカ〳〵勝たれない。吾々がほんとに勝つ氣なら、そしてほんとに勝たねばならないならすべての工場すべての會社の勞働者が、一齊に起つてすべての煙突の煙を止め、すべての機械の擧きを止めなければならぬ。

■之より外に、勞働者の勝つ道はない。之より外に、勞働者の活きる道は無い。之より外に、吾々勞働者が資本家階級を征服し、吾々勞働者が國家の權力を掌握して、永久の奴隷から解放される道は無い。

■そこで前年の神戸の爭議のやうな場合には、先づ全國の造船工や鐵工は、大阪でも東京でも、一齊に同じ要求を提出して、罷工をしなければならぬ。

■それと同時に、先づ神戸のすべての勞働者、電氣も瓦斯も電車も鐵道も、其他あらゆる種類の勞働者は一齊に要求を提出して、一齊に罷工しなければならぬ。

■さうすれば、先づ第一に造船業といふ一工業が全く癱瘓して仕舞ふ。次には神戸といふ一ツの市の生産が全く癱瘓して仕舞ふ。次には全國の生産が癱瘓して仕舞ふ。

■吾々が資本家を征服する唯一の武器は只だ總同盟罷工があるのみである。

只……總同盟罷工あるのみ